

2019年度 ティーンエイジ会議報告書

令和1年9月11日

実施主体：せたがや子育てネット

2019年度 ハイティーン会議報告書

第1章 調査の概要

1-1.調査の概要について

世田谷区で5年に1度行う子ども計画策定に向け、当事者の声を聴くためのワークショップを行った。区の子ども子育て会議で中身を作成しているが、子どもの主体、子どもの視点、子どもの権利を大事に作成することになっている為、量的な調査だけでなく、生の声を聴くために開催する事となった。子どもたちには「声が直に届く」ことをアピールしていく。

このプロジェクトチームには、世田谷区子ども育成推進課計画担当係長・せたがや子育てネットの呼びかけに応じ、世田谷区子ども家庭課、そとあそびプロジェクト・せたがや、児童館職員、学童指導員、NPO 関係者などで構成するワーキングチームを置き、会議の在り方から進行について共に検討してきました。

1-2.世田谷区子ども計画について

「世田谷区子ども計画」は、子どもが健やかに成長・自立でき、また、安心して子どもを生み、育て、子育てに夢や喜びを感じることができる地域社会の実現に向け、子どもや子育てについての総合的な施策を進めることを目的として策定しています。

平成17年度から平成26年度までを計画期間として策定された第1期の「世田谷区子ども計画」の期間が終了し、新たに、平成27年度から平成36年度を計画期間とする「世田谷区子ども計画（第2期）」を策定しました。

この計画は、「世田谷区子ども条例」の下での推進計画としての役割を持つと同時に、「子ども・子育て支援法」で定める「子ども・子育て支援事業計画」及び「次世代育成支援対策推進法」に基づく「次世代育成支援対策行動計画」を内包する計画です。

※世田谷区HP 子ども・教育・若者支援 世田谷区子ども計画（第2期）より引用。

1-3.調査の実施にあたり

今回の調査は、子ども・若者から世田谷区での子ども計画に関わる内容について率直な声をあげてもらおうと同時に子どもの権利・意見表明を実感してもらうことが中心となる。そのために、調査主体者として子ども・若者が安心してヒアリングに参加できるように、当事者の気持ちに寄り添い引き出していくことが重要となる。今回調査に協力して頂いたファシリテーターの方々は、子どもの遊ぶ環境づくり、子どもの権利普及・まちづくり等、日常から子ども若者の声を聴くことを大切に活動している。今回のハイティーン会議では、希望ヶ丘青少年交流センターを会場にしてヒアリングを行った。

1-4.ヒアリング手法について

今回、ヒアリングシートを元に子ども・若者の声を調査していった。(ファシリテーター9名)

以下、ヒアリングシートの質問事項

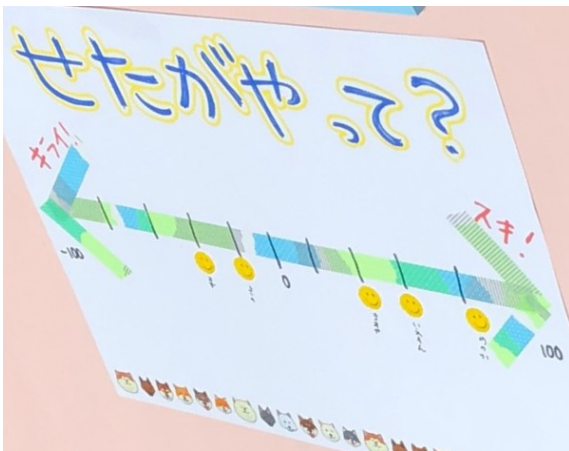
- ① 世田谷って好き・きらい
- ② 世田谷がこうなったら良い

※①については、アイスブレイクも兼ねて好きメーター(世田谷は好きか嫌い点数をつける)を活用。

好きが100点になる為には、どうすれば良いのか話しやすくするワーク。

以上の2つである。

※ヒアリングで活用した好きメーター



- ① については、「子ども・若者の生活環境、身近な人間関係」「世田谷での居場所づくりについて」「暮らしの中の出来事」がヒアリングできるよう心がけた。
- ② については、「居場所の豊かさの発掘、発見」「若者の生活環境への満足度」をヒアリングできるよう心がけた。

1-5.ファシリテーターの役割

調査実施時において、ヒアリングを行うファシリテーターについては児童館、放課後児童クラブ、プレーパーク等で子ども若者と関わる一定の経験のある者が手法、心構え、留意点などを意識して務めた。

心構えとして主に配慮したことは、

- ① ファシリテーターが話の流れを誘導したり特定の発言に対して過剰に反応したりしない。
- ② 子ども・若者の発言に対して「でも」「それは違うでしょ」などと否定しない。
- ③ 子ども・若者の声に共感することで、それぞれ子ども・若者が安心感を得られるようにする。

以上である。

第2章 子ども・若者を対象とした調査

2-1. 子ども・若者へのヒアリング概要

対象：世田谷区内に在住・在勤・在学している12歳～18歳

ワーク参加人数：25名 【子ども・若者】

場所の選定：世田谷区内で青少年交流を軸とした居場所を運営されている希望ヶ丘青少年交流センターをヒアリング会場として行う。

ヒアリング調査：各グループにテーブルファシリテーターを最低1名配置（属性に応じて2名配置）してヒアリングに専従した。調査の雰囲気を和らげるために、各テーブルに小包装の茶菓子、昼食にカレーを用意した。



(※ヒアリング当日の様子。子ども・若者たちにヒアリングを行う様子)

2-2. ワークショップ①世田谷って好き・きらいについて

世田谷区は好き？好きメーターで今の点数をつけてみよう！というワークでは、どのグループも初めは半数以上が60～70点以上と数値が高かったが、話をし始めた途中で再度聞いていくと点数が落ちていく子ども・若者が現れた。最終的な点数としては「51～100点」を合わせると42.1%となり、対して、「0～50点」を合わせると57.9%と、半数以上が世田谷での暮らしや居場所などについて不安や不満感があることが分かった。会場から聞かれた声を分類していくと、世田谷が好きな理由として特に多いのは「自然」、「交通」、「商店・施設」が多かった。世田谷が嫌いな理由で多いのは「学校」、次いで「商店・施設」、「行政・公共空間」の順である。

2-3. 世田谷が「好き」の問いに対して

世田谷に対して「好き」が多かった「自然」、「交通」、「商店・施設」の中では、「世田谷は住宅街という印象が強いまちだが、意外と自然も多い」「交通が便利・路上喫煙やゴミが少ない」「なんでもある（店

で困らない)」が挙げられていた。その他では「中学生まで医療費が無料」、「知り合いと知り合いが繋がっている」「住んでいるところだから好き」など。注視した部分としては「道が狭い、お店も意外とない」、「落書きやゴミが多い」、「住んでいるところだから好き「特に友達がいなくても」」という意見もあった。学校独自のルールや地域独特の人間関係や地域性などが見える発言となった。初めの好印象なイメージと相反するようにヒアリングを進めていくと子ども・若者ならではの悩みが見えてきたのが特徴的だった。

2-4. 世田谷が「嫌い」の問いに対して

世田谷に対して嫌いの理由が多かった「学校」「商店・施設」「行政・公共空間」の中では、「いじめ・不登校の問題」「本屋が少ない、たまれる場が少ない」「落書きやマナーに関して」が挙げられた。その他では「立地の問題から行くのにお金がかかったり、その場にいるのにお金がかかったりする。いける場所がない」、「子どもの声を聞いてくれない」、「中高生に向けている情報が難しい。そもそも本人たちがどのくらい認識しているか分からない」など。注視した部分としては「貧富の差が激しい（肌身で感じている）」、「(いじめに対して) SOS が出せない」「児童館は小学生までが遊べるというイメージが多い気がする。」という意見もあった。子ども・若者に対しての支援や情報、また大人や社会に対して子ども・若者の声が届きづらい印象を彼ら彼女らの声から見えてきた。

2-5. ①世田谷がこうなったら良い「現状・課題」

世田谷がこうなったら良いというワークで見えてきた現状・課題として「居場所」「学校」が特に多かった。「居場所」では「そもそも「居場所」の「支援」など大人から子ども（当事者）に与えてやっている感がある。また大人が勝手に作っているね～～という感じを受ける。」「小規模で、アットホームな居場所がもっとたくさんあったらいい。」「世田谷区に住んでいる人たちはより良い学校に行くために塾へ行ったり、私立の学校へ行ったりが多い。それによって地域のつながりも無くなってしまっている気がする。残念。塾へ行く子達が多く、塾はその子たちの居場所になっているという話を聞いたことがある。居場所にお金を払うってなんだろうと思う。」という意見があった。学校では「学校以外の姿も（先生に）見て欲しい。」「LINEでの「いじり」が「いじめ」に変わってきた」「卒業したら、次の所へ行かなくてはいけない。受け入れてくれる先生はいる。（部活や勉強の手伝いを紙の契約ではなく、やらせてくれる。）が、先生次第という感じ。」という意見があった。その他では「公園が子どもが遊ぶ場所でなくなっている。」「Cheer!や区報、どこに置かれているのか分からない。」「昔から住んでいる人、新しく入ってきた人の差を感じる。子どもの頃から住んでいない人が馴染めていない？だから公園などでの禁止が増えているのではないか。」などが挙げられた。

2-6. ②世田谷がこうなったら良い「願い・想い」

①世田谷がこうなったら良い「願い・想い」に対して、どうすれば良いか・どうなって欲しいかという話で多かったのは「居場所」「情報」が特に多く、次いで「学校」が挙げられた。「居場所」では、「集

まれる場所があれば小さくても良い」、「高校生同士で話していても、騒がしいと言われない場所。ただししゃべっているだけで迷惑と言われてると辛い」、「自習できる+おしゃべりができる場所が。塾の自習室だと私語厳禁で友人と教え合いながら勉強することができない。おしゃべりしながら勉強できる場所がほしい」という意見があった。情報では「情報は普段は周りの大人（児童館職員など）から聞く。知りたいと思って調べたり意識しないと知ることができないので、もっと日常の中で知ることができたらいい。」、「紙媒体の通信など）配っても見ない人はいるから、学校の授業（社会科見学）として、施設に行くのがいいと思う。」、「居場所のまとめサイトを作れば、そこで知って色々なところへ行くきっかけになるかもしれない。」という意見があった。その他では「大人向けの健康器具が多いのが悪いと思っている訳ではない。子どもに対する禁止が多い。私たちの遊びたいきもちを理解して欲しい。」、「まず学校の先生など、子どもにとって身近な大人が子どもの居場所を理解することが大切だと思う。だから社会科見学とかで、施設に来て欲しい。」、「地域のつながりを強くする→ために、いろんなボランティアを頻繁にできる環境をつくる。限られた人しかやっていないのが現状。もっとみんなが関わったら、経験になる。いろんな技の習得にもつながる。（例えば、PA 機材の扱いとか。仕事にもなるかも？俺は好きにやりたいから仕事にはしないけど）」という意見があった。「①②世田谷がこうなったら良い」のワークでは社会や大人に対しての不満や諦めなどが見受けられた。その中で「じゃあこれがどうなったら良くなるんだろう？」と考え出すと、大人が思っていた以上に様々な意見や提案が出てきた。そして、子ども・若者の意見を聞いていく中で「大人に伝えたい！」「声にならない声を聴いてほしい！」と思う場面が多くあった。「どうせ大人は聞いてくれないしな…」「子どもの意見は求めてないからね」という言葉をこうした公の場で聞く事が出来たことは大きな一歩だと思った。

2-7. ファシリテーターの所感抜粋

●彼女たちにとって「学校」や「SNS」が身近な社会であり、その社会での出来事などが、最終的に世田谷区の好き嫌いに影響していた。「せたがや好きメーター」ではプラス得点にシールを貼る子が多い一方で、具体的な話になるとネガティブな意見が多く集まったのが印象的だった。

●これまで建設的にアイデアも出しつつ参加をしていたのがN君だけだったため、発表は不安だらけだったが、順番を決めていざ発表を始めたところ、皆それぞれ解釈を加えながらすんなりと発表をこなしてびっくり！

●こういった意見表明の場を設けるだけでも、自分たちの暮らしについて主体的に考え行動していくきっかけになると感じた。

●不満はどんどん出てくるけど、どうしたら良いかわからないという、等身大の彼らだったが、それぞれが問題意識を整理する、とても良い機会だったのではないかと思う。

●大人のことを理解したいし、子どものことを理解して欲しい。そのためには発信したいし、受信して欲しい。もっとみんなで話したい。

●最初、好きが多いが具体的に出すと、嫌いが多かった。好きは自然に染み付いているものだから言葉にしにくく、言葉にすると嫌いが多くなる。

●好き嫌いとか言われても、よくわからないし…という所からスタートしたけれども、話を進めていくと様々な話を聞くことができた。来ている若者同士の背景が違いすぎたことで難しい場面もあったが、違うからこそ率直に出来た話もあった。日常的に関わっている大人が若者の話を聞く事も必要だと思ったが、同時に、普段あまり関わっていない大人だからこそ聞ける話題があったので、こうした機会がまだまだ若者たちには必要だと感じた。

2-8. 意見一覧

世田谷「好き」	
学校	・学校が近い
	・休み時間が楽しい
児童館	・児童館祭りなどで、色々な経験ができた。
	・児童館の職員が相談にのってくれた。だから子ども関係の仕事に就きたいと思った。
	・アップスとか児童館とか、安心安全ない場所が多く保証されている。
アップス	・アップスのスタジオ使ってる。(高校の軽音部) 学校だと週1しか使えないから、近くにアップスがあってよかった。
	・アップスとか児童館とか、安心安全ない場所が多く保証されている。
	・3月のダンス、3月のアップスフェス、とかイベントが色々あって楽しい。俺イベント屋だから配線つないだり、仕事が増えて忙しいけど楽しい。
	・今度もお化け屋敷つくる、結構楽しいよ。
	・5-6月にあおば祭りに部活(吹奏楽部)で参加したのは楽しかった。
遊び場	・遊ぶところが多い
公園	・公園がたくさんある
	・大きい公園が多い

自然	・自然が多い？
	・東京都で自然がある場所といたら高尾山や奥多摩で、世田谷は住宅街という印象が強いまちだが、意外と自然も多い土地であることをもっといろんな人に知ってほしい
	・都心に近いのに自然が多い。
	・ビルがあつたりもするけど、木があつたり緑も多くて、自然と都市が共存している。
	・意外と畑も多くて、畑作業をさせてもらったこともある。土に触れることができるのもいい。一次産業が近い。
	・砧公園とか、緑が豊かに感じる。
	・緑が多い方がいい。(港区の中学は) 赤坂御所の横にあったから、窓から広大な緑が見えて好きだった。
交通	・駅が近い、多い
	・交通が便利
	・どこでもいけて便利
	・バスの料金が一律なのはありがたい。
	・路駐禁止なのはいい。邪魔な車がいなくなるから。
	・路上喫煙禁止、当たり前だけど(喫煙に嫌悪感がある)
	・路上のゴミはあまりない。(港区六本木に比べて)
商店・施設	・スーパーやコンビニなどのお店が多い
	・スーパーや病院が近い
	・薬局がたくさんある
	・コンビニがたくさんある。よく友達と行ってだべったりもする。好き。特にセブンイレブンが好き。
	・なんでもある(店で困らない)
	・近くにプールがある
	・カラオケがたくさんある
住環境	・住宅街が車少なくて静かなのはいい。別荘みたいな家が多い(港区は集合住宅ばかり) (↑単なるイメージで、広い家なんて一部だ!という反論もあり)
	・家は広い方がいい。できれば一軒家がいい。日陰じゃない家に住みたいから建物は低い方がいい。

制度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生まで医療費が無料なのも良い。前住んでいたところはなかった。また教育も良い。挨拶をする習慣があることが良い。みんな教えられている。今は区外の学校に行っているが、そのような指導はない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生まで医療費無料
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の料金が安い（プール）
友達	<ul style="list-style-type: none"> ・知り合いがたくさんいる
	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷に友達が多い
	<ul style="list-style-type: none"> ・同世代仲間が多い
人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・自身は迷子になりやすいのだが、そういう時も周りの人に聞くと道を教えてくれたり、助けてくれる人が多い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・知り合いと知り合いが繋がっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がいい。知っている職員がいるから、児童館の祭りに手伝いに行ったりする。逆にいなくなってしまうと、行きづらくなる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットセタにいる人がそうなのかもしれないが、興味あることややりたい事を提案すると自分ではできないようなもっと大きなことも一緒に考えてくれたりする。色々な挑戦をさせてくれることが良い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間がいること！
ご近所	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶が多い
	<ul style="list-style-type: none"> ・おばさんたちが優しい
繋がり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で地域の野菜を採りに行った。地域との繋がりをつくってくれた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・通学している時に声をかけてくれたりする人が多い。地域に住んでいるが、地域のつながりがあって暖かいところが、良いな～と思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館、学校の行事などで、地域の人との繋がりを作ってくれる。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな地域を歩いたり、巡ったりしていると新しい発見ができるまち。
	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいるところだから好き。「特に友だちがいなくても」
	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りが多い
	<ul style="list-style-type: none"> ・平和
	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街があって一軒家が多くてオシャレなイメージ

	・区民祭りの時は人がすごかった。盛り上がった。
世田谷「嫌い」	
学校	・東京だから勉強が難しい？
	・中学生は子どもだけでカラオケに行ってはいけないというのが嫌だ
	・校則が理不尽
	・例えば、「他クラスに入ってはいけない」「頭の上で髪を結ばない」「第2ボタン以下は必ず留める」
	・「スカートは膝まで」などがある
	・学校が暑すぎたり寒すぎたりする
	・体育館にクーラーがない
	・学校が楽しくない
	・学校のトイレが臭い
	・掃除当番の人（=先生？業者？）がちゃんと掃除していないのが原因
	・クラスがグループ分けされている
	・成績順位によるグループ分けではなく、生徒同士によるグループ分けが慣例している
	・例えば、1軍（クラスの中心的存在で社交的）から4軍（大人しくて寡黙）までグループ分けされていて、生徒同士の会話でも「あいつは4軍だからなw」のような話題になるという
	・学校の提出物が多い
	・問題が多すぎる
	・いじめなど学校を取り巻く問題が多く解決できていない
	・先生の話が長い
	・貧血の人が多
	・人がいじめられていても対処しない
	・寒いのにプールの授業がある
	・自転車登校が禁止されているのに近くまで自転車に来てる奴が多い
	・ケンカが頻発しているようで「危ないから護身用にいつもナイフを持ち歩いてるんだ」とポケットから折り畳みのナイフを出して見せた。
	・土曜日に学校がある、
	・いじめ？が多い
	・不登校になる子が多い

	・「不良多し」
	・世田谷は教科に、「国語」と別に「日本語」がある。何を学ばせたいかわからないから、いらぬ。
	・学校の授業で、国立新美術館や森美術館に行けた。すごいよかった。世田谷はそういうのではない。
	・学校が汚い、ひび割れている
	・学校の勉強のことを、学校で気軽に聞ける場がほしい
居場所	・若者が集える場所、遊べる場所が少ない。
	・立地の問題から行くのにお金がかかったり、その場にいるのにお金がかかったりする。いける場所がない。
	・勉強ができる場所がもっとあったらいい。
	・夜まで遊べるところがない
	・外にいと補導されそうになる
	・21時まで家ではないどこかで遊びたい
児童館	・アップスや児童館など立地が悪い。アップスも自分の家からだバスを乗ってこないといけぬ(交通費がかかるし、遠いから存在も知らない)。池尻児童館も。
	・児童館は小学生までが遊べるというイメージが多い気がする。
	・船橋児童館は、全体的に厳しいから行きたくない。ほかにも厳しいところが多い。
	・アップスは、いいけど、中高生の居場所なんじゃないの？夏休みってのもあるけど、小学生がいっぱいで落ち着かない。ゆっくり静かに自習したい。
	・アップスは、たむろるほど中高生がいない。
自然	・都会だから星観察ができない ←自由研究として星が観察できない
	・山がない
交通	・世田谷区は道が狭い。通学中とか自転車の前に大きいトラックとかいたら前に進めず大変。バスも同じように道が使いにくい。
	・世田谷区内を移動するとき南北はバスしかない。
商店・施設	・本屋が少ない
	・学生は学業が本分なのに、参考書などを買える書店が少ない (TSUTAYAなども撤退傾向にある)

	・下北沢や三軒茶屋など繁華街まで行かないとないので、近くに書店がほしい（その子は祖師谷在住）
	・スケート場がない
	・どこに行っても人が多くて休めない
	・「休めない」＝ベンチなどひと休みできる場所やモノがない
	・ゲームセンターがあまりない（近くにプリクラが少ない）
	・プリ機が近くにない
	・ゲームセンターが近くにあってもプリクラを撮れる機械がない
	・スタンプの種類が豊富にないので、自転車で行ける場所にほしい
	・本屋がつぶれる
	・ちとふなのマックの周りは「がおか（希望ヶ丘高）」と「大東（学園高）」がたむろっててウザい。・住んでるこっちからすると、たむろされると邪魔だし困る。この間はうちのマンションの1階のところでタバコ吸ってる高校生がいた。
	・「がおか」はチャライ。でも「大東」の方がもっとチャライ。（がおかの2人に気を使って、がおかの方がマシ。大東はみんなダメ、と言いなおす）
	・（がおか内では）学校帰りにちとふな駅前でもどこにも寄って帰っちゃいけない（5月から？）テイクアウトはOK。イートインはダメ。でもなぜか、経堂まで行けばいい。ちとふなはダメ（多分学校にクレームが入ってるから）。・学校帰りに寄れないのは辛い。
	・経堂図書館は、蔵書数が少ない。
行政・公共空間	・公共施設の使い方が汚い、うるさい
	・PASMO や Suica で買い物できないところがある
	・ところどころにごみが落ちている
	・落書き
	・夜うるさい
	・マナーが悪い（スマホ、祭りのエアガン）など
	・行政の怠慢
	・イベントごとにはやる気ある！役所の人、お祭りごとは好きなんじゃない？
SNS	・便利すぎるといろいろと
	・便利すぎる社会になっていくにつれて、自分で何かを頑張ったり努力したりすることがなくなってきた
	・何もない、不便
	・SNS（LINE）などの扱いが悪い

	・スタ連（スタンプ連打）をしてきて、自分の存在をアピールしてくる（*いわゆる“かまってちゃん？”）
	・LINE グループで、そのグループに入っていない人に対して暴言を放つ人が多い
	・LINE や Tik Tok で他人の写真を勝手に出す人がいる
情報	・中高生に向けている情報が難しい。そもそも本人たちがどのくらい認識しているか分からない。
大人	・子どもの声をきいてくれない
	・主に学校での嫌がらせやいじめが起きたときに、学校の先生をはじめ大人は自分たちの主張や意見をまじめに受け取ってくれない
	・大人に相談しても何もしてくれない
人間性	・ケンカや破壊行動
	・グレル
	・たまにいるクソ野郎（公園でわめく等）
	・ケンカはなくなる。強くなるしかない。
	・唯一けんかを終わらせる方法がある！手首を持ってひじを内側に向けて強打。
	・大人を呼んでも何もしてくれない
高齢者	・1人暮らしのお年寄りが多い。ニュースでも孤独死のニュースとかやっている。そういう人たちが集えるホームとかもつとあると良い。
	・「(ホーム) 待機老人」「孤独死」の老人がいる。
	・「老人が大切にされすぎ」
経済・所得	・貧富の差が激しい（肌身で感じている）
	・お金がたくさんかかる
	・区役所がクソだから、貧富の差が激しくなる。
虐待	・近くに虐待の疑いのある家とか普通にある
	・虐待の疑いがある家を取り締まられていない。
いじめ	・「いじめ」を指すものが広がってきた
	・全てを「いじめ」とするのは難しいかも

	・自分が「いじめられている」という感情が湧いたら、それは「いじめ」
	・他人から見て「あれはいじめじゃない？」と思ったら本人に聞いてみる
	・本当にいじめられている人が助けられないのはおかしい
	・本当は嫌なのに「大丈夫だよ」と言ってしまう
	・SOS が出せない
その他	・世田谷でいろいろやりすぎて、一周回って好きも嫌いもない。役所のことも子どもに関わる施設の職員もよく知っている。
	・4月から高校に通っているだけで、それまで世田谷区に来たことがなかった。正直まだわからない。港区は好き。
世田谷こうなったらいい「現状・課題」	
学校	・学区域の分け方。目の前に学校があるのに、学区外なので申請しければいけない。親が大変。
	・同じ公立なのに授業内容に偏りがあるらしい。英語に力を入れるところがあるとか。
	・校則が厳しい。
	・副担任って何してるの？
	・副担任＝担任の先生の代わり？
	・副担任は担任の先生と一緒に問題に取り組んでほしい
	・いじめを対処しない先生と、いじめ解決に取り組んでいる先生が対談する
	・先生が学校見学したらどうかな
	・いじめ解決に取り組む先生の言動を学ぶ
	・いじめ対処法を先生同士で学びあう
	・“なぜ”いじめられているのか、先生も分からない
	・LINE での「いじり」が「いじめ」に変わってきた
	・いじめられている人は先生に言おうと思っていない
	・先生が状況を把握しようと思っていない
	・でも、担任も気づいているのかも？
	・友達と話す、遊ぶところ。
	・学校以外の姿も見て欲しい。
	・卒業したら、次の所へ行かなくてはいけない。受け入れてくれる先生はいる。(部活や勉強の手伝いを紙の契約ではなく、やらせてくれる。)が、先生次第という感じ。

児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館等、20 時までの利用を良く思わない人がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館が 20 時まで開いていなかったら、コンビニのイトインとか他の所に溜まることになると思う。
アップス	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と遊ぶ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームができる場所
	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画を読むところ
	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフは親しみやすい
	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人がいるところ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・アップス、何がなくなったら来なくなる？ Wifi、コンセント、体育館、任天堂スイッチ
	<ul style="list-style-type: none"> ・色んな人にアップスとか施設に来て欲しい。
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が区外というところで、友達同士で集まると自然と渋谷、原宿、二子とかになることもあるけど、一度世田谷で遊ぼうとなったとき、本当に何もなかった。だから結局渋谷とかになる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区に住んでいる人たちはより良い学校に行くために塾へ行ったり、私立の学校へ行ったりが多い。それによって地域のつながりも無くなってしまっている気がする。残念。塾へ行く子達が多く、塾はその子たちの居場所になっているという話を聞いたことがある。居場所にお金を払ってなんだろうと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも「居場所」の「支援」など大人から子ども（当事者）に与えてやっている感がある。また大人が勝手に作っているね～～という感じを受ける。
	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所というけど、自分からコミュニティに入りたいと思わないかも。
	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の子は、学校へ行っていないから共有できる話題もないと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人の目も気になるから、来ないのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・家に帰りたくない、勉強したいという子もいる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所ってそもそも何？その言葉に違和感がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所とは？ 学校、家、アップス、ゲームをしても親に怒られずにすむところ、特定の友達と一緒にいるとき、ドライブしている時、友達の家、友達という時は気分転換になる、部活、ネット、自然のある所、自然のあるところ、一人でぼーっとすると落ち着く、人ゴミはパニックになる。

	・居場所は落ち着けるコミュニティがあったり、自分の本音が出せるコミュニティがあるところ。
	・学校のコミュニティを引きずりたくない。
	・居場所は人が作るものではない。作っていける材料、空間がそこにあるか。“居場所を作る”というよりも“居場所を作る材料”をどれだけ用意されているかだと思う。政策として「居場所を作る」ではなく、「作るための材料を増やす」ことが大事？
	・例 コミュニティのテーマがある。コレがやりたい、とかから始まっていく。「お年寄りのためのボランティア団体を立ち上げたい」という人がいれば、そこにあるまった人のコミュニティができたりする。やりたいを実現する可能性のあるところが居場所。今考えるとアップスも、プレーパークもそうかも。
	・例えば嫌な人がいたとしても、嫌だからといって関係を捨てることはできない。人間関係を構築するのも学び。そういうこともあっていい。
	・そもそも居場所というものは難しい。
	・学校だけに居場所を求めたくない。
	・ゲームの世界にコミュニティがある人もいると思う。
	・学校を卒業した後の受け皿が少ない？
	・居場所が多いのに知られていない。
	・小規模で、アットホームな居場所がもっとたくさんあったらいい。
	・うるさいのは確か。
	・学習室は静かに勉強できる場所として必須。
居場所ではないところ	・私がいなくても大丈夫、と思うところ。
	・これは私の友達の話だが、小学校6年のときいじめで「ここは私の居場所じゃない」と言っている子がいた。中学に入りクラス替えもあり学校に来たが、その子は「ここも違う」と言っていた。居場所というものはそうそうあるものではないんじゃないかな～と思う。
	・そもそも世田谷区には、意見を深めたい、考えを深めたいと思った時、それを実現できるような場所はあるのだろうか。
公園	・魅力的な遊具がなくなっている
	・木登りできない
	・花火ができない

交通	<ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭い。車とすれ違うのが怖いところがある。自転車で車道を走るのが怖い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・南北に走る電車がな。一度渋谷や新宿に出ないといけない。遠回りになる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷線の車両が小さい。雨の日やボロ市の時は特に混雑する。急行が欲しい。
商店・施設	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも図書館は使いにくいから、人が来なさすぎ。以前使っていたことがあるが、ほとんど学生が来なかった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館などにある机のついたら使いにくい。椅子も硬くて長くいられない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館には漫画がない。漫画を置いたらくる人もいるかも。
	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃべっちゃいけないところも、息苦しくて、図書館に人が来ない理由ではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃあ中高生だけが使える店？それもちょっとやだ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・広ければいい？どうしたら騒がしいと言われない？（答え出ず）
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で配られてもすぐ捨てたり、しまったり、親に渡したりしてしまう。遊气流（羽根木プレーパークのお便り）みたいに見たいと思うものじゃない。知る機会も活用する機会もない。区報が出ていたり、掲示板もあるけどそもそも見ない。そもそも区報がどこにあるか知らない。見たこともない。あったとしても内容をあまり見ようと思えない。どこに何が書いてあるの？分かりづらい。何もないからゲームする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・Cheer!や区報、どこに置かれているのか分からない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の子たちに情報を伝えたいが、そもそも学校へ行かない子たちは、外へ出るのが怖い（学校来てないのに児童館来てるじゃん、と言われてたり）から外へは出ないかも。
ネッセタ	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな意見を行っても否定されない場所。一度は受け入れるというルールがある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・意見をぶつけ合えるから、自分が納得するところへ落とせる。
Cheer!	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルのつけ方が謎。なんの冊子かよく分からない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・～わかものライフガイド～とあるが、そこが目に入らないし、入ったとしてもライフガイド？と思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・“わかもの”が自分たちのことという認識もあまりない。“わかもの支援”も自分が支援される側と思わない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの認識とはずれがある。（“わかもの”たちにとって）

	・楽しそう～！と思うようなお知らせの出しかたをしてほしい。
区への要望	・区のホームページもリニューアルされたばかりだけど、ものすごく使いづらい。
	・ネットセタに関しても問い合わせ方法がTelとメールしかない。学生にとってはハードルが高い。問い合わせのプラットフォームがあるといい。申込みとかもやりにくい。
	・ほしい情報を探し出しにくい。特にお知らせ情報を乗せるところ。全てのジャンルの新しい情報が一つのところに一緒になってしまっている。この分野の最新情報はココ、とか分けてほしい。
人間性	・ケンカが多い
	・マナーの悪さが目立つ
	・昔から住んでいる人、新しく入ってきた人の差を感じる。子どもの頃から住んでいない人が馴染めていない？だから公園などでの禁止が増えているのではないか。
地域	・気軽に球技や花火ができる公園が少ない。
	・水遊びができるところが欲しい。
	・健康になるための大人向け遊具が多い。
	・公園が子どもが遊ぶ場所でなくなっている。
	・お祭りも提供する側とされる側という感じ。
	・地域の祭りはどんどん小さくなっている。
	・経堂、ちとふな、祖師谷、成城は、学生が多い街。若い人も多い。
世田谷こうなったら良い「願い・想い」	
学校	・学校からの距離で学区を決めて欲しい。申請なしでも簡単に入れたらいい。
	・教育関係者での会議を開いて、それぞれの学校の情報をシェアしていいところは取り入れて欲しい。
	・生徒が学校に意見してもいいと思う。
	・校則がある理由を、先生生徒共に理解すべき。何のための校則なのか説明して欲しい。
	・先生、児童館の等施設の職員の交流として、自分たちの違う姿を知って欲しい。
	・授業で施設の見学に来て欲しい。

	・職業体験の場にアップスなどの施設も入れて欲しい。
	・施設のイベントなどに先生や地域の人に来てもらい、理解を深めてもらいたい。
	・まず学校の先生など、子どもにとって身近な大人が子どもの居場所を理解することが大切だと思う。だから社会科見学とかで、施設に来て欲しい。
	・制服でなく私服で登校したい
	・校庭に山や池があったら楽しい！
	・池の水全部抜く！
	・高校の授業からプールなくして。
	・必修の教科からなくしてほしい。濡れるのも嫌だし、着替える時間短いのに大変。入りたくない。
	・授業中に騒いでるやついなくなれ
	・(なんで騒ぐの?)先生にもよる。面白い授業だったり好かれている先生だと静か。でも騒ぐのは生徒の問題。騒ぐなら出てってほしい。
	・自由な時間がほしい
	・テスト期間は自由な時間多い。テスト期間以外も欲しい。
	・午後から授業に身が入らないから、午後がないのはうれしい。
	・授業時間長いんだから、保育園みたいに午睡の時間つくるの良くない？
	・中高生はとにかく時間がない。自由な時間、自分たちでいろいろできる時間を。
保育園	・保育園幼稚園を充実させる
	・預けたい人が預けられるようにしてあげたい。将来は保育士目指してる。
居場所	・「ゆう杉並」のような施設が欲しい。サークル活動、同年代・多世代との交流ができる所。バンド練習、ボーカル・ギターレッスンが無料で受けられる。
	・おかさんの家がとても居心地がいい。もっと周知して欲しいし、もっとこのような施設が各地域にあったら、地域の子どもが行きやすいと思う。
	・駅や学校の近くに仲間で集まったり自習したりできる場所がほしい
	・自習できる+おしゃべりができる場所が。塾の自習室だと私語厳禁で友人と教え合いながら勉強することができない。おしゃべりしながら勉強できる場所がほしい

	・既存施設を活用するのではなく、新しい施設がほしい
	・集まれる場所があれば小さくても良い
	・もっと学校の近くや駅の近くに作ってほしい。
	・学校のコミュニティが持ち込まれるのが嫌になる子供もいるだろうから、学校の近くは難しい
	・定期券内にあったら、施設に行くのにお金がかからないのでいい。
	・立川に、立川漫画パークという施設がある。そういうのが区内にも欲しい！
	・勉強と息抜きのどっちもできる施設。
	・音楽を聴きながら本が読める。
	・雑誌もたくさん。マンガもたくさん。
	・映画も見られるブース。
	・広々ゆったりしている。空調も、もちろん大事。
	・地下にライブラリーカフェがあると言い。(食べられる場所があると、長居できるから)
	・友達と話しながら自習できる雰囲気。(一方で、静かに一人で自習したい人も希望も叶う)
	・正直高校生は時間がない。21:00まで開いていたら、行ける。
	・(家とか学校の)近くにあるのがポイント！
	・高校生同士で話していても、騒がしいと言われない場所。ただしゃべっているだけで迷惑と言われてると辛い。
	・学校では、最終下校が部活後すぐだし、いられない。友達と話せる場所が帰り道にあるとうれしい。
	・アップスみたいな施設がもっと欲しい！
	・カフェ、コンセントがあって、学習室、音楽室がタダで使えるところが魅力。
公園	・大人向けの健康器具が多いのが悪いと思っている訳ではない。子どもに対する禁止が多い。私たちの遊びたいきもちを理解して欲しい。
	・アスレチック、サイクリングができる大きな公園が欲しい
	・球技、花火、水遊び、テニスが気軽にできるところが欲しい。
	・公園にたむろしている若者が迷惑。居場所施設ができることで、こういった若者も集まることのできるのでは？という意味。
	・ボールがダメでバドミントンをやったら、広い空間を占拠しちゃって周りに迷惑になっている

	・公園では遊びたい遊びができないから結局家でゲームになっちゃう
	・球技ができる公園
	・アスレチックなどの遊具が充実した公園
自然	・桜並木とか本当に綺麗。もっとあったらいい。
	・木陰は涼しいし。心が安らぐ。
	・世田谷区は緑、多い方？
	・駅にいる鳩怖い。
交通	・道幅を広くして欲しい。専用道路の充実。
	・でこぼこしていて、立地的に南北の電車を作りにくいらしい。せめて、レンタル自転車を充実させてほしい。
	・混雑が予想される日には本数を増やすとか工夫して欲しい。
	・横は多いけど、縦はバスだけ。バスは時間通りじゃないし、ちょっと…
	・(一方でこんな意見も)でもバスは、近くまで走っていたり、どこでも行けて便利。
商店・施設	・「アニメイト」が少ない。Round1 みたいな、みんなが「これほしい！」と思いが詰まった施設がほしい
	・本屋が少ない、ほしい！駅まで行かないとないので近所にほしい。学生として本屋がないのは致命的！
	・ゲーセンが少ない。同一ゲーム機は複数台あるのに、プリ機がない。
	・イートインスペースのような集まれる場所がほしい
	・図書館などは閉まるのが早すぎる。22時まで(できれば22時半)は開いてほしい。
	・図書館に対して：保育実習の時、母親たちが立ち話でしゃべっていて、その間子どもが遊べないという問題があった。母親たちが話をしているてもOKなところや、母は話ができ、子どもはその間遊んでいられるようなところがあっていいかも。(他の机のを見て思った。)
	・もっと若者がたのしい図書館がほしい！(中高生がしやすい図書館)
	・放課後に立ち寄れる店が欲しい！(学校で禁止になっている事情から)
	・駄菓子屋もっと欲しくない？
	・よみランつくる？

情報	・情報は普段は周りの大人（児童館職員など）から聞く。知りたいと思って調べたり意識しないと知ることができないので、もっと日常の中で知ることができたらいい。
	・周知させる企画がしたい。
	・その居場所、施設に関するチラシ、イベントチラシなどを学校で配ってもらう。
	・配っても見ない人はいるから、学校の授業（社会科見学）として、施設に行くのがいいと思う。
	・SNSで発信。その際はURL貼って、気になった人がすぐに調べられるように工夫して欲しい。
	・イベント後には事後報告を発信。そうすれば行けなかった人も知ることができる。
	・居場所のまとめサイトを作れば、そこで知って色々なところへ行くきっかけになるかもしれない。
	・青少年のための情報を行き届けさせるためには、学校とかは活用できないか。学校はみんなが通う場所だから上から目線で「こういうところがあるから行ってみる」的に先生が勧めて出会わせるのもアリでは？（知るきっかけとして）
	・視点を持たせるために「こういう人がいるよ」「会っておいで」とか、そういうのはあっても良いかも。
	・こども食堂を、家でご飯がない。という一人暮らしの友達に紹介したことがあった（両親離婚のゴタゴタで子供が家から追い出され、一人暮らし中）。でも、住んでいるところは世田谷区外で、結局行ってもいいか分からず（自分は対象だと分からない）「でもそれって、世田谷に住んでいる人だけなんじゃない？」という相手の声もあり、いかずのままになってしまった。世田谷区内在宅でなくても在学でも行けるよ、とか書いてあると安心する。
	・上記を受けて、どんな言葉に興味を惹かれかるか？ Wifi無料！、体育館が使えるよ！、音楽室がある！、ダンスできるよ！、楽器あるし、使えるよ！、手作りできるスペースがあるよ！、ゲームがあるよ！、無料充電可能！、飲み物あるよ。アップスも割と揃っているけど、情報が見えにくく、情報が行き届いていない。そもそも立地が悪い。
	・区の若者向け情報は、公立の学校だけじゃなくて、私立の学校や世田谷区に住んでいて区外の学校へ行っている子どもたくさんいるから、その子達にも伝わるように配ってほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の子達もいるから、フリースクールや三茶にあるような不登校の子を支援するセンターとかに置いたらいいのかも。
	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区の観光について、あんまりアピールしていないから観光するのに人が来ない。もっとうまくアピールしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区にある生活感とか海外からくる人にとっては面白いはず。
人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業とかで人間性を育ててもらえたら
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・100円代行サービスというのが他の地域でやっているのを知っている。電球を変えるなど生活の中のちょっとした困りごとを頼んでやってもらえる。そういうのがあればお年寄りが一人暮らしでも様子を見たりできるかも。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今、行政側の取っている対策が全て、お年寄りがある場所にきて参加してもらうものばかりだと思う。そうではなくて、もっと別の視点のサポートがあると良い。こちらから行く、出向くなど、こちらが歩み寄るような内容。家を訪ねるとか。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・野外の宿泊施設があるといい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに月1で集まり、そこで中を深める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りに色んな団体に参加してもらおう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した受け皿が欲しい。地域の頼れる存在の人が欲しい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを強くする→ために、いろんなボランティアを頻繁にできる環境をつくる。限られた人しかやっていないのが現状。もっとみんなが関われば、経験になる。いろんな技の習得にもつながる。(例えば、PA 機材の扱いとか。仕事にもなるかも？俺は好きにやりたいから仕事にはしないけど)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動をすれば地域のいろんな人とつながれる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で仲間が増える、と楽しい。